

弥勒菩薩半跏像：広隆寺

岩屋山 観音たより

発行所：和歌山県
海草郡下津町橋本一〇六五
福勝寺内
電話：(073)4941031
編集人：本多碩峯

我が祖先見えぬ聞こえず

その顔を

子孫に映す観世音さま

碩峯作

嫌なニュースの多い昨今ですが、本
当に素晴らしいニュースが飛び込ん
できましたね。小柴昌俊(七六歳)・
東大名誉教授のノーベル物理学賞と
田中耕一(四三歳)・島津製作所社員
のノーベル化学賞受賞です。
人間にのみ可能な創造しかも私達人
間にとつて、最も高度で高価値のある
創造です。特に博士でもなく企業の一
研究員(田中耕一氏)がこの快挙を成
し遂げたことは本当に素晴らしいこと
です。この顕著な創造はまた桜の木が
春になると心が和み美しい花が咲くが
如く、研究成果が開花したようにも
思えますね。それほど二人のお人柄が
身近に感じるからでしょう。



「三宝に奉獻す」

真理の花たば

弘法大師講本部・四国六番安樂寺
住職・畠田秀峰師書

自分の花を咲かせよう

明日への装を提案します!

寝装・和装・洋装・総合繊維卸

株式会社 マスメン

代表取締役 増田都司夫

本社

〒640-8376 和歌山市新中通2丁目8

TEL (073)424-4466(代表) FAX (073)436-6508

豊かなまちづくりに参加しま す!

株式会社 田淵建築設計事務所

代表取締役木田耕蔵

本社

〒640-8287 和歌山市築港4丁目2-1

TEL (073)431-0261(代表) FAX (073)431-3898

私達は慶びごとや葬式やお祝いやお見舞いの時、花に私達の心を託します。手紙にも時には添えたくなるのもです。花にはさまざまな色、形、香りがあり、それぞれ咲き方にも違いがあるように、花も個性を感じます。

当寺の境内には酔芙蓉(すいふうよう)の木があり、初秋の今が満開といっても、朝の間は白色、午後には、ピンク色に変化し散って行くも次から次へ蒼ッポミが開花する。

この短い命の綺麗な花にも何かを感じさせてくれます。

平家物語の冒頭に、「祇園精舎の鐘の聲、諸行無常の響きあり、沙羅双樹の花の色、盛者必衰の理をあらわす」と謳われています。

沙羅双樹(さらそうじゆ・インドクシナガラ城外、娑羅の林の中、釈迦の病床の四方に二本ずつ相對して生えていたといふ娑羅の木、釈迦が入滅した時、鶴のように白く枯れ変じたといふ。沙羅(娑羅樹)の花は朝咲いた花が夕方には散ってしまいます。

人の一生も沙羅双樹のように、栄える人もいつかは滅び、いつかは年老いていきます。今は可愛い赤ちゃんも、おばさんや、おじさんといわれる日が来るのです。群集に埋もれていても、いつかはきれいな花を咲かせる機会が巡ってきます。止まない雨もなければ朝の来ない夜もありませぬ。

唯、自然界と異なることは人間には

意思・心がございます。

どんな苦しい環境でも時には精進努力が必要で。

宇宙のものは一時として変わらぬものはなく常に変化し、同じ状態にとどまっていることはありません。

『諸行無常』といつと、きれいな花が散って行き、生あるモノが死を迎えるとか、生きている人が劣えて死んでゆくといつような、マイナス的なことばかりを想像しますが決してそうではありません。『諸行無常』とはマイナスのものがプラスに変わっていくといつことも含まれているのです。

『諸行無常』だからこそ、経済的に貧しくとも努力すれば心の豊かさを知ることが出来る。経済的にも豊かになることができます。

ノーベル物理学賞受賞者・小柴昌俊博士が大学ではビリであったそうです。またノーベル化学賞受賞者の田中耕一さんは博士号取得者でもなく企業の一般社員であります。

人は努力次第で思いがけなく、世間に大変お役に立つ成果を創造することの証です。お釈迦さまも「すべてのものは移り行く急らず努めよ」といっています。

人はこの当たり前前のことを知らずに苦しんでいます。

豊かな福々しい心の花を

咲かせよう

弘法大師空海著『般若心経秘鍵(はんやしんぎょうひけん)』に次の言葉があります。

迷悟我れあれば、
発心すればすなわち到る。

道理に迷って、ウロウロとよからぬ道に迷って悩み苦しむのも、自分の心のなかの仏心に目覚めて、力強く正しい仕事に励むのも、みな自分の決心次第であるから、菩提心(仏様のような清らかな豊かな福々しい心)をおこし、実生活に生かしますれば、次第に心のながなが楽になり明るくなって、微笑を浮かべて暮らせるようになる。

仏教では悟りを求める方向を、上求菩提(じょうぼだい)下化衆生(げけしゅうじょう)といっています。上に向かつては私の平安な境地に近づいて生きよとつとめ、下に向かつては生きている人々を安楽な方向へ導いていくという人として正しい生き方をいいます。

したがって、発心すなわち決意とはまず自分は何に向かつて、この生きている大切な生命のエネルギーを燃やすのかを正しく求めることであります。身体を動かして役に立つのもよい。言葉や文字で役立つのもよい。心を温かくもって、よい想いを送るのもよい。まず菩提心を起こすことによつて、

自他をそこなつ心の動きは制せられ、人は明るく生きる軌道に乗ることが出来ます。

唯物主義の誤りと諸行無常

私達は意識するとせぬにかかわらず、みんな唯物主義の考え方を持っています。眼耳鼻舌身の五官の感覚に映するもの、色あり形をもつたいわゆる物質だけが実在で、それ以外のものは何も無いという思想です。

思想として意識しなくても、そのような考え方がいつも心の習性となつてこびりつき、しよせん常識となっているのです。実は五官に映ずるものはほんのもののことの表面で、肉眼で見えない所にこそ、何もかが一ぱいに満ちているのです。その方が一そ実在で、肉眼で見える色や形はその実在の上の現象にしかすぎないのです。あたかも水が無数の輪の波となつて見えても水が本体であるように、眼に見えない実在が実は底にあつてそこから現象が生じている。底の湧き水が原因であります。

神秘の実在が、すべての現象の根源をなしていることに気がつかないのです。

この度、地村保志さん、浜本富貴恵さん、ご夫婦、蓮池薫さん、奥土祐木子さん、ご夫婦、曾我ひとみさん、待ちに

待った拉致以来、母国訪問が二十四年ぶりに実現したことはご家族は勿論のこと日本国民にとつても大変喜ばしいことです。

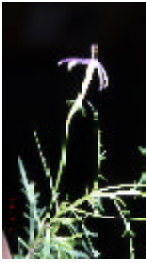
北朝鮮政府に対しこの許されない犯罪への怒りの中にも、「ご家族の喜びを思うと私達国民は冷静に実在を見抜く必要がある。

一日も早く五人を含む家族に本当の平安が訪れることを祈念すると共に、一度とこのよつな不幸な犯罪が発生しないよう、また一日も早く救出し国家国民の安全を護る我が日本の政府の行動が伴つよう、強く要求するものです。

高野山真言宗では、「生かせ、いのち」を基本理念として人間一人ひとりが心の豊かさを実感し、お互いの存在を認め合う社会づくりの実現を目指しております。

この度の拉致問題が二十四年という長き時間、本人はもとよりご家族を苦しめました。

みなさん、日々の生活の中で、心の豊かさについて、あなたにとつて優しさについてあらためて考えて見ましよう。



蘭

弘法大師空海の創造性の発揮！

この辺で空海の入唐前後を整理してきたい。空海は大学に入って、律令官僚のコースに入ろうとしたところで、一人の沙門を通じ、求聞持法に出会つてしまひ、それで、その行に入つていく。その行に入ることを通じて、律令官僚へのコースをばつたり断念して流浪者の群れに入つて行く。そこには、当時、民衆信仰が渦を巻いている。当寺福勝寺に關係ある役小角・役の行者などが、既に八世紀の初頭あたりに開拓していた修験の道とか、そつゆうものが渦を巻いている吉野川の南の地域に入つていく。

空海の回想にみると、若いときに、吉野から一日南へ下つて、それから二日西へ行くことで高野山にめぐりあつた。

ところで、求聞持法というのは、養老二年、西暦七一八年に中国から入つてきたのだらうです。

このような背景の中で空海は時には修験者の如く、そして一人の沙門として求聞持法を四国大瀧嶽や室戸岬での行はあまりにも有名な話です。

空海著『三教指帰』の序で、空海はそのころを回想して次のようにいつている。

「ここに一人の沙門あり。われに虚空蔵求聞持の法を呈す。その徑に説かく。もし人、法によつてこの真言一百万遍を誦すれば、即ち一切の教法の文義暗記する

ことを得。ここに大聖の誠言を信じて飛を鑣燧に望む。何国大瀧嶽にのぼりよじ、土州室戸岬に勤念す。谷響きを惜しまず、明星來影す。ついに乃ち朝市の榮華念々にこれを厭ひ、嚴敷の煙霞日夕にこれを飢心。輕肥流水を看ては電幻の歎き忽ち起り、支離懸鵝を見ては因果の哀しび休せず。目に触れて我を勤む。誰かよく風を係がむ。」

現代語訳：

《さて、一人の修行者がいて、わたしに求聞持法を教えてくれた。その修行の典拠である、虚空蔵菩薩求聞持法経にはつぎのようにある。「教えのとおり、この虚空蔵菩薩の真言を百万遍唱えれば、あらゆる教法の文義をおぼえることが出来る」と。そこで、わたしはこれは仏のまことの言葉だから間違いないと信じて、木を擦つて火を出すように、少しも怠ることなく、阿波国の大瀧岳にのぼりよじ、土佐国の室戸岬で、この教えのとおり修行に励んだ。すると、谷はこだまし、明星が来たり現れるといったように、靈驗があつた。とつとつ、都市の榮華がいつとき毎にいやになり、朝に夕に大自然のなかで生活することを願つようになつた。

軽やかな衣、肥えた馬といった都会人のぜいたくなくらしをみると、あれもたちまち消え行く哀れなものだと思ひ、

支離のよう不具な者、懸鵝のようなみすばらしい貧乏人をみると、どういつわけてそうなつたかと悲しむばかりであつた。こつしたありさまをみるにおよんで、わたしは出家しようと思つた。

求聞持法といふのは虚空蔵菩薩を本尊として、この菩薩の真言百万遍を百日間（二百日間）でその間その他陀羅尼を百万遍をも呪したといふ説もあり）にわたつて誦する苦行である。これらを教えた一人の沙門とは一体誰であるか、御遺告には石淵贈僧正大師すなわち勤操といふことになつていますが、今日、研究者の方達では勤操ではないと云われています。

これより先に奈良時代に道慈と善議は入唐して、『大日経』の訳者として知られている善無畏三蔵（シユラカラ・シンハ）について親しく求聞持法を学び、帰朝後、これを勤操に伝えていいます。このような因縁があつて、『御遺告』の編者が求聞持法の師を勤操としたものといわれています。

また、空海の若き時代の勉学場所は新都長岡京よりも仏都奈良であつたらうといわれている。

『三教指帰』巻下に仮名乞児が堅い交わりをした者に阿私度の名をあげ、

また乞児の篤信の檀主に光明婆塞がいた。阿私度は『叢書指帰』に「阿法師と割注がある。宮坂有勝先生は阿私度は、優れた私度の法師」というほどの意味であるにちがいないと言っている。このことからみてもおそらく空海は当時、無名の一私度にすぎなかったことは確かであるといわれています。光明婆塞も実在のモデルがいたにちがいない。婆塞は優婆塞の略称で、半僧半俗の者を指す。若き日の空海はそうした連中と交わり、あるいは支援を受けたのだらうといわれています。

一切の世俗的なものの拒絶は山岳修行者の一沙門に導かれた結果であり、そのことよって空海は国家の官人となる登竜門ともいっべき大学での勉強を放棄してしまったのである。こうした反律令的なきびしい行動は、その後空海の生涯の基礎をなしていることを見落としてはならない。

このよつに空海を本質的に山岳修行者と見るならば、律令国家の時代にあつて顕著に反律令的な性格を持つているのが、空海の実像である。庶民信仰の王者となりえた「弘法大師」の秘密がここにあるといわねばならない。

山岳修行者役小角(えんかく)の行(ぎやう)に続くいたるところに秦澄(しんじやう)という名前が出てくるそうですが、例えば紀州の那智の滝の途中の洞窟があるといわれています。

す。風に吹かれて滝が少し横へ流れますと、そこにお勤めしている役(えん)の行者の後姿が見えるということが今日でも那智ではいわれています。これなどは永遠に生きていくという信仰は、秦澄や弘法大師ばかりでなく、役の行者にもあります。

初期の修験道には道教的な、神仙術といったものが強く入っておりますが空海が境目となつて完全に修験道が密教化するのです。

『三教指帰』三巻は、空海が二十四歳延暦十六年(七九七)十一月一日に書き上げたものであります。求聞持法を修行しているうちに、「私は名譽や財産に対する欲望がなくなつた。そして、人々の集まる都や市場を離れたところで生活することを朝に夕に切望した。『最澄・空海集』一三頁)すなわち律令国家の官吏となつて権力に仕えることが嫌になつて出家を願つた。が出家は忠孝の道に背くという親族たちの激しい反対をおしきつたのです。またやくざな暮らしをしている甥をみるにつけても、出家の志をかためて、本書すなわち『三教指帰』を書いたといふ。

巻上では亀毛先生が登場して儒教の立身出世による忠孝の道を説き、巻中では入れかわつて、虚亡隠士が神仙の術をきわめて不老不死をえる道教を説き、それが儒教にまさるを力説する。巻下には仮名乞児が亀毛と虚亡を誡めて一切衆生を救つ慈悲のはたらきを示す仏教こそが最

勝であると言明し、三人で次の十韻の詩を唱和して幕が下がる。

(現代語訳：
「日月の光は闇夜をやぶり、三大宗教は愚かなものをあきらかにする。人々の性質も欲望もさまざまなので、すぐれた医師の治療方法もことなる。人間の義務を孔子が説いた、これを字へば大臣にもなれる。
陰陽の変化を老子が教えた、これを伝え授かると道教の高樓にのぼる。大乘仏教のただひとつの真理は、意義も利益ももつとも深い。
自己のためにもなり他のものも救済して、鳥や獣もけつして忘れはしない。春の花は枝の下に落ち、秋の露は葉の前に沈む。
流れる水はとどまることができず、つむじ風はいくたびも音をたてる。
感覚の世界は死への海、常・楽・我・浄の境地はすばらしい峰だ。
すでに輪廻の世界の束縛を知つたからには、宮仕えはやめて仏道を求めよう。」「この詩は今日、わが国漢学文化史上、最高の傑作と評されています。」
前号に書きましたが、『三教指帰』を著してから延暦二十三年(八〇四)五月十四日に遣唐大使藤原葛野麻呂の第一船に乗つて攝津国難波を出帆し、入唐求法の旅にのぼるまで六年数ヶ月間

空海は消息皆目不明です。その間の空海については、『高野大師御伝』、『読日本後記』、『金剛寺文書』、『弘法大師伝』、『贈る大僧正空海和上伝記』などの中で矛盾点を解き明かされて発表されている宮坂有勝先生の考察に基づき書かせて頂きます。

藤原葛野麻呂の第十八次遣唐船の派遣が決定したのが延暦二十年(八〇一)八月十日です。

最澄は延暦二十一年(八〇二)九月に入唐求法のために上表文を差出している。そして入唐請益天台法華宗遺學生の許可され、通訳は弟子の義真も許可。

延暦二十二年(八〇三)三月二十九日に桓武天皇により壯行の酒宴がもつとされた。

皆さんのスーパー
株式会社 みち屋
代表取締役 道畑 勇
本 部 和歌山市岩橋729番地の6
TEL (073) 473-4197
松 島 店 和歌山市加納246番地の1
TEL (073) 474 - 3500
貴志川店 那賀郡貴志川町大字北山517番地
TEL (0736) 64-7020

(5)

空海は延暦二年四月七日に出家得度を受け、同年四月九日に東大寺戒壇院で元興寺の泰信より具足戒受けた。この月十四日出帆する葛野麻呂の遣唐船に乗り込むために、それまで私度僧であった空海は急遽、官僧の資格を得る必要があったからだといわれている。従って空海は葛野麻呂、最澄の一行と難波津を出帆した。ところが、二十一日に暴風、疾風のため、この日の午後九時過ぎに、船は大破して渡海できなくなり、溺れる者数えることが出来なほどであった。二十三日葛野麻呂は上京し、二十五日にこの旨を上奏された。その結果、二十八日に典薬頭の藤原貞嗣、造宮大工の物部建磨らを遣わし、遣唐船ならびに破損した雑物を修理させた。このとき、最澄は十月二十三日より九州の大宰府龍門山寺に留まり、越年してきます。

桓武天皇は最澄、空海を招いて天台、真言を大唐に赴くことを望んだ。

皇太子の安殿親王は大乗經典三部一通と金銀數百両を渡航費としてわたされたという。最澄の入唐を支援したのが和氣弘世であるが、果たして空海への支援を和氣弘世がしたのだろうか。両雄の交友は帰朝後のことである。

いったい、無名に近い一青年留学僧の渡航費は誰が出したのだろうか。伊予親王ではないかという説に対し

宮坂宥勝先生は安殿親王(平城天皇)と伊予親王との関係を掘り下げ研究することが、空海が帰朝後、入京を遅らせられた原因や最澄の出会い、後、最澄と分かれねばならない運命が実はそこに隠されているような気がするといっています。

すなわち、伊予親王とその母親が皇位継承のクーデターで霊閉され、母子が服毒自殺をしてしまつた事件がある。

入唐前の空海の話が全く不明であり、大和国高市郡久米寺の東塔下で『大日経』を得たという伝承は、入唐以前に密教を学び、すでに密教を求めて入唐する意思を固めていたことを物語る。

帰朝後の『請来目録』には、『大日経』が記載されず、『善無畏三蔵の』、『大日経疏』を載せていることに注目されている。空海入唐前に奈良西大寺には天平写経の『大日経』を蔵し、『正倉院文書』には、『大日経』の写経がありますが、また、『金剛頂経』、『蘇悉呼童子経』などの重要な密典がすでに請来されていたから、空海はこれらのすべてに目を通していたことは十分考えられる。空海が入唐間もなく、杜知遠や福建の役人達からいち早く、唐の理解力に目を付けていたことから想像できます。

空海と元興寺との関係ですが、『金剛寺文書』に先に述べましたように、空海は受戒(記載日付に疑問)の師は元興寺の泰信です。そして後、帰朝後最澄が空海

のところに最愛の泰範を空海のもとに受法のために使わせたところが泰範はついに空海の弟子になって帰らなかった。この泰範事件も有名な話です。弘仁七年八一六夏、空海は高野山の開創に着手するにあたり、最初に派遣したのが、泰範と俗縁にあたる実慧であったところからみても空海が如何に泰範を重用していかうかがわれる。

宮坂宥勝先生はこの泰範と先の泰信とは何らかの関係にあった人物であり、空海と泰範の両者は泰信門下生の兄弟弟子であったのかも知れない。具体的にいえば、泰範が元興寺で出家得度したのが延暦二十一年(八〇二)八月で、二十五歳のときである。もしも空海が元興寺で得度受戒したのが翌年二十二年(八〇三)四月だとすれば空海は泰範より四、五歳年長である。

弘仁三年(八二二)六月二十九日に泰範は最澄にあてて一通の書をおくり、暇を乞うているが、泰範は比叡山であらねないほどの事件を起こしていると思像される。

この年の十一月から空海のもとに身をよせている。前にも書きましたが以前より空海と泰範は深い関係にあったといえる。

弘仁十二年(八二二)に空海は藤原冬嗣に四人の弟子を属する書簡を送っている。「即ち一、二の弟子を率いる日夜に教授す。東大寺の泉隣、実慧、元興寺の泰範、大安寺の智泉等、稍、大法の旨趣を得。自外の大小師等は各、一尊の瑜伽を得。然るに今、天恩重ねて流れ、両部の大曼荼羅

石田裕之

関西に彗星のごとく現れる
シンガー・ソング・ライター!
現役の神戸大学法学部学生
ラジオ大阪(OCB・1314)
「ミュージック・ビッグ・パン」にDJで出演
毎土曜日PM 9:30 ~
<http://www.insomnia.co.jp> CDのご注文は左記HPへ.....



Flowers(詩)
紅い朝日を背中に受けて 始まる一日の中
家を目指して
時を忘れた日々の破片も つなぎあわせ
不器用なまま 強く輝く 確かな
種がここにある
ひとつひとつを大切に並べたら
いがいなくらいあたたかさに満ちていた

像を凶し奉り、その功畢らんと欲す。」
〔高野維筆集 上〕

空海の六年数力月の行方不明の鍵が
潜められていると思います。なお、元
興寺の護命、大安寺の勤操、と空海と
の親交、最初の空海の四人の弟子達
がこれら諸寺と空海との関係が背後に
存在することだといわれています。

東大寺の如宝は鑑真がわが国に來ら
れた時の最も若い少年の愛弟子で胡僧
ですが、大唐の実情、宗教界に詳しい
彼とは親しい間柄にあった空海であり
ます。

ところで前号の紹介しました入唐後
延暦二十三年(八〇四)十月に、空海
は葛野麻呂に代わって福州の觀察使に
日本国より派遣された遣唐使であるむ
ねを記した公文書を作成しました。そ
れにより一行の入京は許可されたが、
空海のみなぜか許可が出なかった。

そこで空海は再び筆をとったのが
『福州の觀察使に請ふて入京する啓』

ここに現代文訳を紹介いたします。

日本国の留学僧である沙門空海が申
し上げる。私、空海は、才能が世に聞
こえることなくその言行もなんの取
り柄もない。ただ雪中に肘を曲げて枕
として寝み、雲の蔽つ峰に野の菜を喫
して修行することだけ努め励んでき
た。いまちょうど、他に適当な人がな
かったがために、選ばれて留学生の末

席をけがした。留学の任期は二十年
を限定として、尋ね求めるものは一

大乘の教えである。その任重く、責め
を負う者たる私は力が弱く、早朝か
ら夜半まで寸陰を惜しむのみである。
いま私は、遣唐使に随つて長安の
都へ入ることが許されないことをお

聞きしました。その理由は官の存念
次第である。いまさらそれに求める
ところがあるわけではない。ではあ
るけれども、歳月は過ぎ行き、年月は
われわれのところ居てはくれない。

どうして、国家から厚く任ぜられた
憑みを負いながら、空しく矢のよう
に疾い年月をむだに打ち捨てること
ができませんか。このため、今回の留め
置きを歎いて、一日も早く長安の都
に入ることを貪るようにこい願うも
のである。

私、空海がひれ伏して考えるに、觀

察使閣下は、その徳は天子の心に
よって選び認められ、その仁徳は遠
いところにも近いところにもあまね
く聞こえている。老いも弱きも袖を
連ねて、その徳を讃え頌う声は街に
満ちあふれ、男も女も手を携えて、そ
の功績を詠う声が耳いっぱい聞こ
える。閣下のお徳は外では世間徳化

の風を示し、内には真実の道、すなわち
仏道を淳く敬っている。

私、空海がひれ伏して願うことは、仏
道を広めることをお考えあつて、私に入
京の道をお与えくださることを。お許し
あらばただちに高德の仏僧を尋ねあてて、
一日も早くその志すところを遂げようと
するものである。

いま、自分の勝手なお願いを申し上げ
て恐縮至極である。あえて閣下の耳目を
塵し、ひれ伏して深く戦慄する。謹んで
申しあげたてまつり、お耳に達する。
謹んで申し上げます。

貞元二十年(八〇四)十月 日

日本国の学問僧、空海啓す

中承閣下

この願ひ文は唐国の觀察使・閻濟美に
強く訴えてている。

この文章の中で、「他に適当な人がな
かったがために、選ばれて留学生の
末・・・」という文面から空海の謙虚な
人柄が伺えられる。

その結果、空海も入京を許可される。

空海は一行とは別に留学のために長安に
残ることになるが、日本からそれより三
十年前に留学していた永忠の住んでいた
西明寺内にある住居に移り住んだ。

空海はおそらく密教を学ぶために、わ
が国を出発する前から長安をすでに目ざ
していたことが明らかであると、いわれ
ている。

次号へ



有限会社
代表取締役

ミヤタケ
宮下隆博

〒640-8329

和歌山市田中町4-119

TEL(073)422-2327 FAX(073)436-5598



人に優しい音声発生装置!

有限会社 日本メディテックス

代表取締役 山口昭昌

〒641-0054

和歌山市塩屋5丁目5番43

TEL(073)446-2009 FAX(073)446-3696

熊野古道は人類の潜在意識の頭れ！ (五)

去る十月二十九日にテレビ朝日『歴史街道』で当福勝寺が紹介されました。

『歴史街道』ホームページの予告編の紹介記事から：

「地蔵峰寺の北の台地は、紀伊国名所図会に「熊野路第一の美景なり…」と記された眺めの良いところ。白河上皇熊野詣行宮跡で「御所の芝」と呼ばれ、近くは和歌の浦、雑賀崎、友が島、遠くは淡路島、四国までが望める。

この眺めのよい台地から、古道を南へ下った福勝寺は弘法大師の開基と伝えられる古刹である。本堂内には本尊・千手観音菩薩像と四天王像が安置されている。長く緩やかな曲線を描く参道の石段がゆかしい趣をかもし出している。本堂北側の求聞持堂は、紀州徳川家初代藩主・徳川頼宣が創建し、頼宣が守り本尊としていた虚空蔵菩薩像が安置されている。

本堂近くの高さ二十m、幅三十mの岩窟の上から落ちる滝は、滝の裏側が見えることから「裏見の滝」と名づけられた。岩窟には弘法大師が刻んだと伝えられる不動尊像がまつられている。「岩窟には弘法大師が刻んだと伝えられる不動尊像がまつられている。」

福勝寺と空海、役小角の縁起



当福勝寺本堂と梵鐘 (重要文化財)



地蔵峰寺

当寺にはテレビで紹介された様に空海が刻んだと伝えられている石造の不動明王像があり、昔から山岳宗教の修験道場であったことが記録が分かる。空海と山岳修験者との関係について述べてみたい。

その前にこの石造の不動尊像は作物の恵みであるところの雨が降らない干ばつ時に滝つぼに置いて雨乞いの行を近年まで続けていた。当地は山に囲まれた小さな盆地ですが、その山々の峰に高野山で点燈した一燈を峰々の新に点燈雨乞いをしたと古老は語る。『三教指帰』にも火に関する文章が出て来ます。空海は四国の室戸の最御崎寺で修行しています。この寺名は岬で火を焚いた証です。すなわち「ほつつみさき」は「火の岬」という意味だそうです。

役の行者の一番正確な伝は「日本靈異記」ですが、初期の修験道には道教的な神仙術です。それに密教が入ってくるのは、空海が一つの境目といわれています。完全に修験道が密教化するのは聖宝と観賢と淳祐との三人によって大峯山で行われた峯授灌頂、これが密教化した修験道の境目です。

淳祐は石山寺の開山で、大峰山修験道を完成した人といわれ、聖宝は真言宗の修験道の祖であります。

観賢は三人の中で唯一人弘法大師の入定の姿を見た人といわれています。聖宝はお大師さんから峯授灌頂を受けた四代目といわれています。

当福勝寺には役の行者をもお祭りし、天狗にまつわる伝説があり、今日でも修験道の行者がお参りされ、空海に関する言い伝えもごいます。

昔は鳥栖の鳳閣寺が修験道の総取締りの時代があり、真言宗は、昔はそこから大峯山に登ったそうです。また当寺に關係するところでは戦前まで京都聖護院一行は年に一回熊野古道を經由本宮より大峯山へ登り、途中当寺で行と一泊されたという。次号へ

自然と共生

やっぱり有機です！

- 有機化成：グアノ化成、サンミクロ化成、そだち化成
- 有機液肥：サンミクロ液肥、トップグリーン、パイオトップ
- 胚芽肥料：胚芽有機、胚芽燐酸
- 輸入肥料：貴陽696・888、硝酸化成555
- 有機ペレット：ペレボンF、胚芽ミックス
- 有機配合肥料：カンベキ864

株式会社 倉商

大阪市西区京町堀 1-3-22

電話 06-6444-0289・FAX 06-6444-0911

坊主の独り言

高付加価値とは何か

トヨタカンバン方式の発想の転換
 今や企業ではリストラの結果生産体制はどうなっているのだろうか。山寺に驚る坊主には気になるところでもある。アメリカの従業員削減策とはわが国のリストラとは少し異なるのではないか。一九七〇年代に渡来し、オハイオ州のある会社を見学した時、オーナー社長は先ず案内したところは社長はじめ従業員のタイムカードのコーナーであった。

社長は、我が社はご覧の通り遅刻も欠勤者もないことを自慢されたことに大変な驚きであった。当時日本ではアメリカではフレックスタイムという労働の自主性による作業効率を求めるという日本では考えられないシステムが宣伝されていた。

また、バブル時代までは売り上げ目標を達成させる為に先ず、営業マンの増員が第一だったが、当時アメリカの国内航空（ボストン、ニューヨーク）に乗ったときの経験ですが、片道チケットより往復チケットが安いということ（片道一〇ドルとすれば往復は九ドル）は長い（元々アメリカは発注数量の単位が少ない程高く、果物屋では五個

より一個のリンゴが高い。薄利の五個の顧客には将来への期待度が高い。航空会社も営業経費を節約しながら顧客を確保するシステムとしての価格戦略です。

ノーベル賞受賞者田中耕一郎氏が外国通信社との記者会見で日本企業の受賞者が何故少ないのか？との質問に答え、日本の企業では失敗すると上司から叱られるが、欧米ではそれよりも成果を重視される事が原因ではないかと答えていました。

実はトヨタのカンバン方式の成功の要因に従来の日本人の発想にない顧客は勿論のこと、人を大切にする、人本を大切にしている自動化であった事が最大の要因だと思つたのです。カンバン方式を実践成功させたトヨタ自動車元副社長大野耐一氏の口述記録や優秀な子弟

のダイハツ工業の元田中副社長の口述記録等から伺える。

大野氏は戦前は豊田自動織機の創業者豊田佐吉氏のもとで航空機の部品製作に携わり、佐吉氏のモノづくりに徹底的に身に着けた。

我々一般にはコスト管理、品質管理その他諸管理に個別に取り組んでいたように思いますが、トヨタ

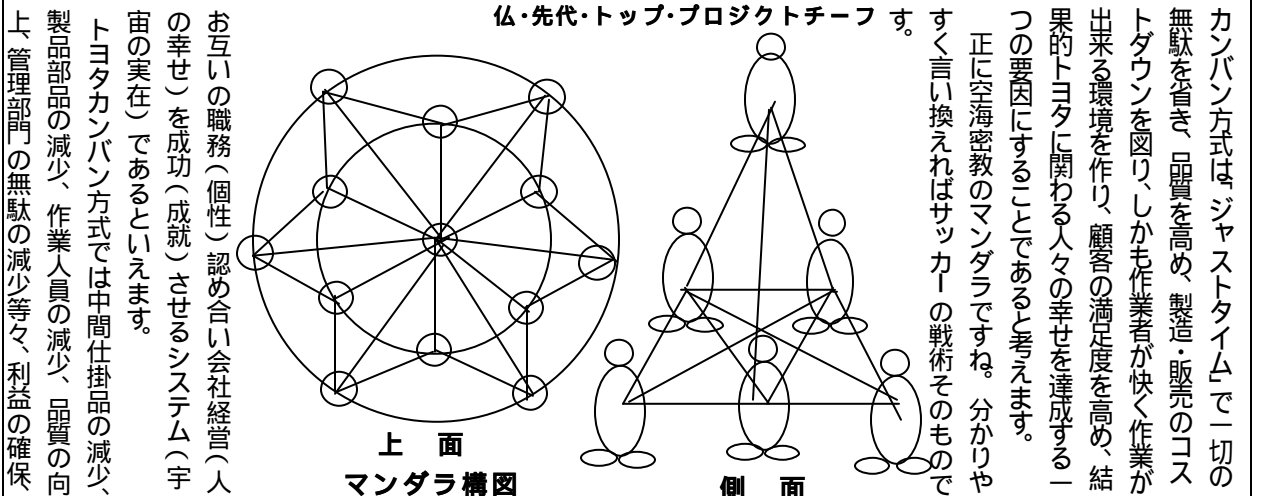
カンバン方式は、ジャストタイムで一切の無駄を省き、品質を高め、製造・販売のコストダウンを図り、しかも作業者が早く作業が出来る環境を作り、顧客の満足度を高め、結果的トヨタに関わる人々の幸せを達成する一つの要因にすることであると考えます。

正に空海密教のマンダラですね。分かりやすく言い換えればサッカーの戦術そのものです。

上 面
 マンダラ構図

側 面

お互いの職務（個性）認め合い会社経営（人の幸せ）を成功（成就）させるシステム（宇宙の実在）であるといえます。



顧客の満足度の向上グループ会社役員を含む全社員の幸せ度の向上に至っているのです。今や世界の大学の講座にトヨタカンバン方式が出ているという。尚、今日、病院経営の手法に適用され、トヨタ自動車とその経営コンサルタントに進出するという情報もありま

す。大野耐一氏は工場内で働く人々の五官（目視覚・耳聴覚・舌味覚・鼻嗅覚）きゆつかく（皮膚触覚）の好快感を大切に信号にブザーやベル等を非常に嫌ったそうです。働く従業員の立場で環境作りと共にカンバン方式が完成された。

短歌

夕茜染まりし空に一条の
 飛行機雲のうす紅を引く
 樹々の間を尾の房々と渡る栗鼠
 戯れあひて目交をゆく

編集後記
 友人の尚腕の無い西家君から、九十二歳の母親がとうとう入院しました。連絡を受けました。老人ボケで手に負えなくなり病院にお世話になったとの事。本当に素晴らしい親孝行です。

十月二十六日恒例の遊神会書道展伊藤東海門下生に大阪美術倶楽部へ行く、真弟子、南、東桂の素晴らしい書拝覧させて頂く。当寺に六字名号を奉納されています。

谷澤規佐子作
 中筆